

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

道の駅を核とした小さな拠点整備による地域活性化計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県真庭郡新庄村

3 地域再生計画の区域

岡山県真庭郡新庄村の全域

4 地域再生計画の目標

新庄村は、岡山県の北西部、鳥取県と境を接し、中国山地の真ん中に位置する典型的な中山間地域の村である。「村民一家族」を理念に掲げ、顔が見えるコミュニティの形成と相互扶助による村づくりを進めてきたが、働く場が農業、林業、公務等に限られること、生活を支えるスーパーやコンビニ、レストラン等が村内にないことなどから、人口は、昭和 55 年の 1,357 人をピークに減少し続け、平成 27 年には 866 人、高齢化率は 40%を超えており、人口流出に歯止めをかけ、移住・定住を進めるなどにより人口減少問題を克服することが喫緊の課題となっている。

こうした状況の中、道の駅は、村役場に次ぐ重要な雇用先であり、飲食、野菜、一部食品等を提供する中核的な店舗機能を果たしてきたが、設置から 20 年以上を経過し、施設の老朽化が激しいこと、新商品開発が進まず商品の陳腐化や種類が少ないこと、専任の経営者がいないこと、開設当初から行政が関わってきたため、現場スタッフの夢や目標が感じられなくなっていることなどから、魅力に欠ける施設となっている。

そのため、道の駅を改修し、商業機能の拡充と雇用増大を図るとともに、観光客に対する案内窓口、情報発信コーナーや地元食材を使った料理を提供するレストラン等を整備することで、まちの賑わいを創出し、交流人口の増加を図る。また、道の駅は、村の中心部のがいせん桜通り沿いにあるテレワーク拠点施設「咲蔵家。」まで徒歩数分の距離にあるため、観光案内に加え、村の移住に対する取組みも紹介することで、将来の移住者の獲得に繋げる。加えて、道の駅は、村の主力農産物であるヒメノモチを餅や大福などに加工する工場を直営し、村内から J A まにわへの出荷量の約 1 / 3 を買い取っており、道の駅での利用量が増大することで、生産者からの買い取り価格の上昇も見込まれる。

こうした取組みを実施することで、雇用や新しい人の流れを創出し、住み続けたい気持ちを醸成し、高齢化及び人口減少に歯止めをかけることを目的とするものである。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
道の駅の売上額	135,000千円	0千円	0千円	25,000千円
道の駅の利用者数	62,000人	0人	0人	8,000人
道の駅での 新規就業者数	0人	0人	0人	1人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
道の駅の売上額	20,000千円	20,000千円	65,000千円
道の駅の利用者数	10,000人	5,000人	23,000人
道の駅での 新規就業者数	1人	2人	4人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

道の駅を「美しい村マルシェ」をコンセプトにリニューアルする。施設機能をマーケット・マルシェ・レストラン・その他の4つに分け、①村民の日常生活を支えるマーケット機能「村のマーケット」②特産品等の販売を行う「美しい村マルシェ」③来訪者と村民が共に利用できる「美しい村レストラン」④1から3を有機的につなぐオープンテラスやロビーの4機能で構成する。オープンテラスやロビーでは今まで行えなかった生産者直売や、村の特産品をアピールするワークショップ・料理教室なども開催し、滞在型の道の駅とする。村民も日常的に利用できる機能を併設する事で来訪者との交流を強化し、村の観光交流拠点施設とするとともに、村の雇用の場の確保、情報発信及び産業の拠点とする。

また、道の駅は、村内からJAまにわへのヒメノモチ出荷量の約1/3を買い取り、餅や大福などに加工しているが、全量を直接買い取ることにより、加工場、集荷販売拠点の整備を行うことで販路を拡大し、生産者の所得向上を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生拠点整備交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

新庄村

② **事業の名称**：道の駅「メルヘンの里新庄」機能強化事業

③ **事業の内容**

建設から20年以上経過した道の駅を魅力ある施設に改修するとともに、住民向けの日用品販売や農産物直売機能等の商業機能を強化する。また、移住・定住・観光の総合窓口を設置するとともに、レジや接客サービスの向上を図ることで、売上を伸ばし、村内での安定した雇用の創出を図る。

④ **事業が先導的であると認められる理由**

【自立性】

老朽化した施設の改修、商品構成の魅力化、サービス向上等の経営改善を行い、平成32年度までに売上額を1.5倍に伸ばし、地域の雇用先としての役割を果たす。

【官民協働】

道の駅では、村の特産品の販売や特産品を使った料理を提供していくこととしているが、地元組織である「新庄村源流農産物の会」「新庄村有機農業サポートセンター」「道の駅青空市の会」「新庄村ヒメノモチ生産組合」といった関係機関と連携しながら地域課題の解決に向けた活動を行っていく。

【政策間連携】

新庄村ではヒメノモチに特化した農業政策を取っているが、今後は餅を使った加工品のブランディング化を進め、新商品開発、道の駅での販売強化、首都圏などへの販売網拡大を進め、一層の所得向上を目指す。その際に、ICT人材育成事業と連動させ、デザインやホームページなどが作れるクリエイティブ人材を生かしたブランディング化を図る。

また、新庄村は、出雲街道の宿場町として栄えたが、この宿場町の古民家をコワーキングスペース、旅館、レストラン等に改修し、歩いて楽しい通りを再生させ、観光客の増加を促し、消費を誘発する仕組みを整える。

【地域間連携】

津山市が進めている地域中小企業の潜在能力を活かしたイノベーション創出の仕組みに、新庄村が力を入れているテレワークによる働き方改革の仕組みを融合し、地理的な制約を超えた新たな産業のあり方や働き方を模索しており、道の駅での地域資源を生かした商品開発のための仕組みやノウハウ、異業種によるマッチングに向けた助言を得る。

⑤ **重要業績評価指標（KPI）及び目標年月**

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
道の駅の売上額	135,000千円	0千円	0千円	25,000千円
道の駅の利用者数	62,000人	0人	0人	8,000人
道の駅での 新規就業者数	0人	0人	0人	1人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
道の駅の売上額	20,000千円	20,000千円	65,000千円
道の駅の利用者数	10,000人	5,000人	23,000人
道の駅での 新規就業者数	1人	2人	4人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

毎年度、3月末時点のKPIの達成状況を総務企画課が取りまとめて情報共有を図るとともに、学識経験者等の意見を踏まえ、議会の関与を得ながら検証結果報告をまとめるとともに進捗状況に応じて説明会を実施する。検証結果はホームページで公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

①第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 182,100千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（5ヵ年度）

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) ヒメノモチ販売促進事業

事業概要：ヒメノモチは、村の基幹産業の柱であり、生産量の増加、

販路拡大によって、生産者の所得向上を図り、村民が豊かに暮らせる村づくりを進める。現在、道の駅は、村内からJAまにわへのヒメノモチ出荷量の約1/3を買い取り、餅や大福などに加工しているが、全量を直接買い取り、販売量を増やすことで、販路拡大を図る。そのためには、既存の加工場だけでは、生産量に限界があるため、新たに加工場、集荷販売拠点の整備を行う。

事業主体：新庄村

事業期間：平成29年度～平成32年度

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

定量目標の達成状況を確認するために、毎年度各指標の集計を行い、「新庄村地方創生推進委員会」において結果について評価を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。

目標1

道の駅の売上額については、産業建設課が9月末時点で指定管理者からの決算報告により把握する。

目標2

道の駅の利用者数については、産業建設課が3月末時点で指定管理者からの事業報告により把握する。

目標3

道の駅での新規就業者数については、総務企画課が3月末時点で道の駅における施設雇用の実績人数により把握する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	事業開始前 (現時点)	平成28年度 (1年目)	平成29年度 (2年目)	平成30年度 (3年目)
道の駅の売上額	135,000千円	0千円	0千円	25,000千円
道の駅の利用者数	62,000人	0人	0人	8,000人
道の駅での 新規就業者数	0人	0人	0人	1人

	平成31年度 (4年目)	平成32年度 (5年目)	KPI増加分の 累計
道の駅の売上額	20,000千円	20,000千円	65,000千円
道の駅の利用者数	10,000人	5,000人	23,000人
道の駅での 新規就業者数	1人	2人	4人

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

毎年度、総務企画課が「新庄村地方創生推進委員会」における評価後、速やかに新庄村ホームページにより公表する。